



医療法人 心信会  
池田バスキュラーアクセス・透析・内科  
Access/Nephrology/Dialysis

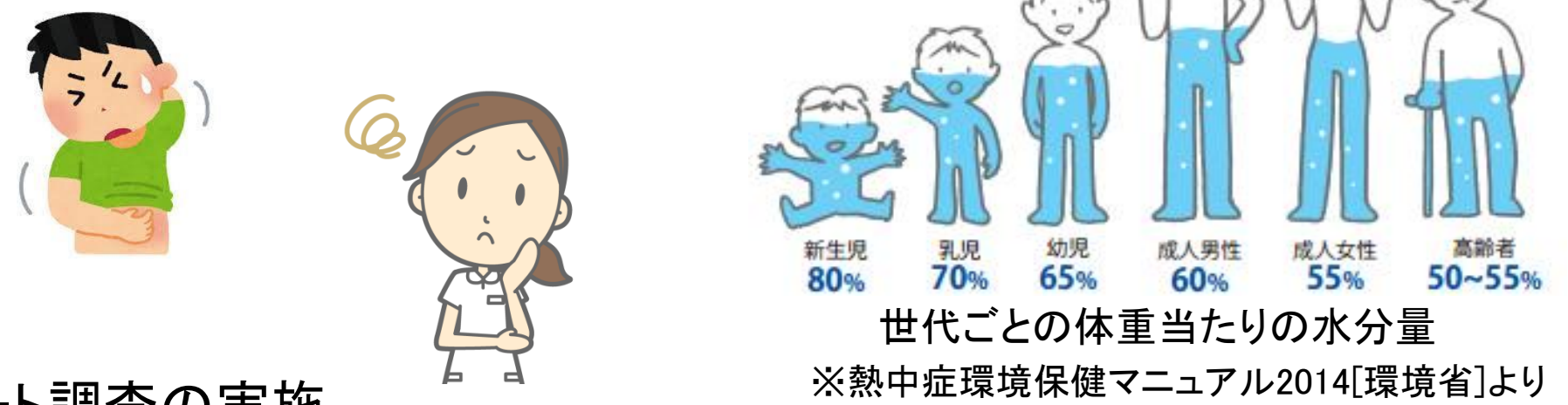
○ 藤井 亜美、下田 ひろみ、坂 さとみ  
川原田 貴士、安田透、池田潔

#### 背景・目的

透析患者のかゆみは、さまざまな原因が関与しているが、透析効率を上げることにより改善がみられるケースもある。当院でも、積極的な透析効率の改善を試みているが、平均透析導入年齢が69.2歳(JSDTより)と高齢になっている現状も、新たな要因ではないかと考えた。  
加齢とともに、体の水分量は減っていくため、保湿の重要性も高いと考え、かゆみの強い患者に対して保湿を中心に看護師によるケア介入を試みた。

#### 期間・対象

当院維持透析患者111名  
(期間:2017年4月～6月)



#### 方法

- STEP1. かゆみに関するアンケート調査の実施
- STEP2. アンケートよりかゆみのトータルスコア上位5名の選出
- STEP3. STEP2の5名に対し2ヶ月間のケア介入(保湿ケア、セルフケア介入)

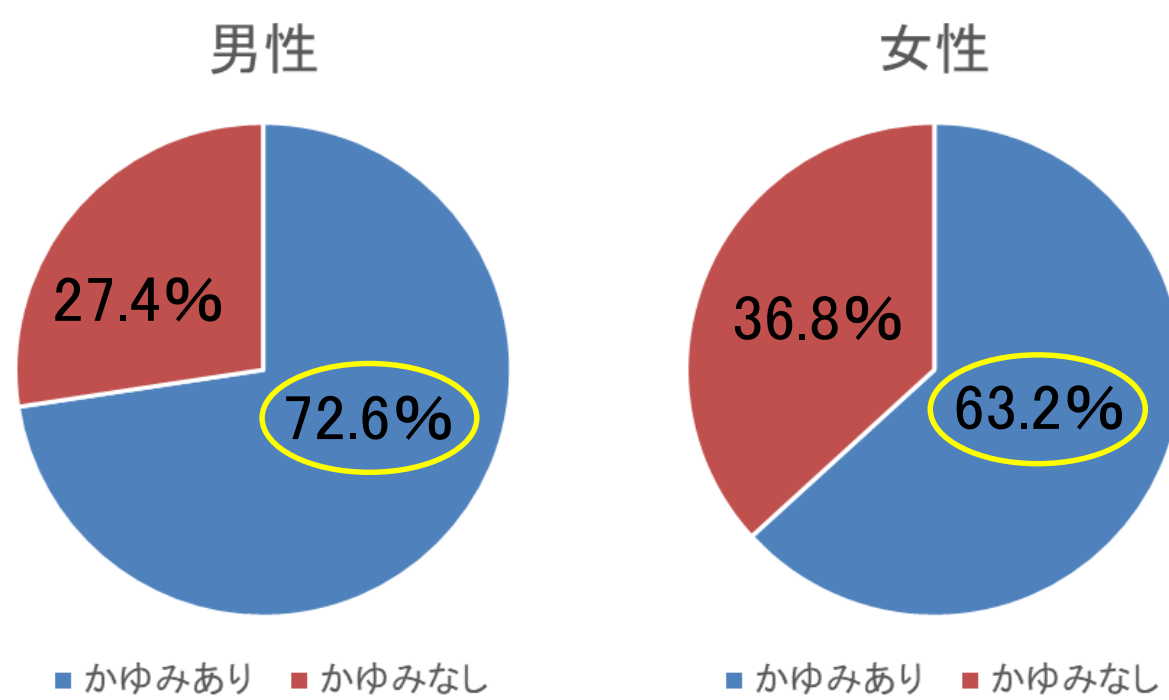
#### アンケート内容

1. 日頃のかゆみの有無
2. そのかゆみは透析によるものだと思うか?
3. 上半身、下半身、シャント周辺、その他に分けた、かゆみの程度(白取らによる5段階尺度評価)
4. かゆみの強い時間帯
5. 日頃使用している保湿剤の有無
6. 保湿剤を使用している理由

| 程度       | 日中の症状   | 夜間の症状                                    |
|----------|---|--|
| 0<br>なし  | ほとんど、あるいは全く痒みを感じない                            | ほとんど、あるいは全く痒みを感じない                       |
| 1<br>軽微  | 時にムズムズするが、特に掻かなくても我慢できる                       | 就寝時わずかに痒いが、特に意識して掻くほどでもない。よく眠れる。         |
| 2<br>軽度  | 時には手がいき、軽く掻く程度。一度おさまり、あまり気にならない。              | 多少、痒みはあるが、掻けばおさまる。痒みのために目が覚めることはない。      |
| 3<br>中等度 | 痒くなり、人前でも掻く。痒みのためにイライラし、たえず掻いている。             | 痒くて目が覚める。ひと描きすると一応は眠れるが、無意識のうちに眠りながら掻く   |
| 4<br>高度  | いてもたってもいられない痒み。掻いてもおさまらずますます痒くなり仕事も勉強も手につかない。 | 痒くてほとんど眠れない。しょっちゅう掻いているが、掻くとますます痒みが強くなる。 |

表1. 白取の掻痒重症度基準

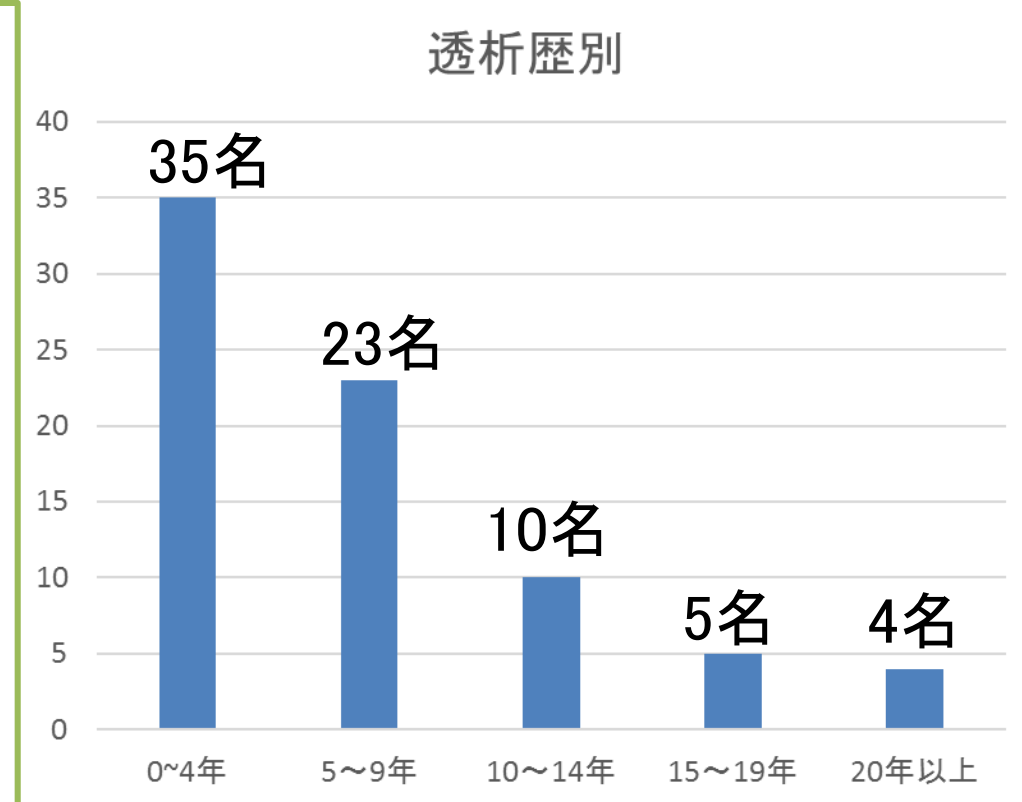
#### 結果



グラフ1. かゆみの有無(男女別)

| 当院年齢別数(全111名) | かゆみ有(77名中の割合) |
|---------------|---------------|
| 20代:1名        | 1名(1.3%)      |
| 30代:7名        | 6名(7.8%)      |
| 40代:9名        | 9名(11.6%)     |
| 50代:23名       | 15名(19.5%)    |
| 60代:38名       | 24名(31.2%)    |
| 70代:23名       | 17名(22.1%)    |
| 80代:10名       | 5名(6.5%)      |

表2. かゆみ有77名の年代別内訳[%]



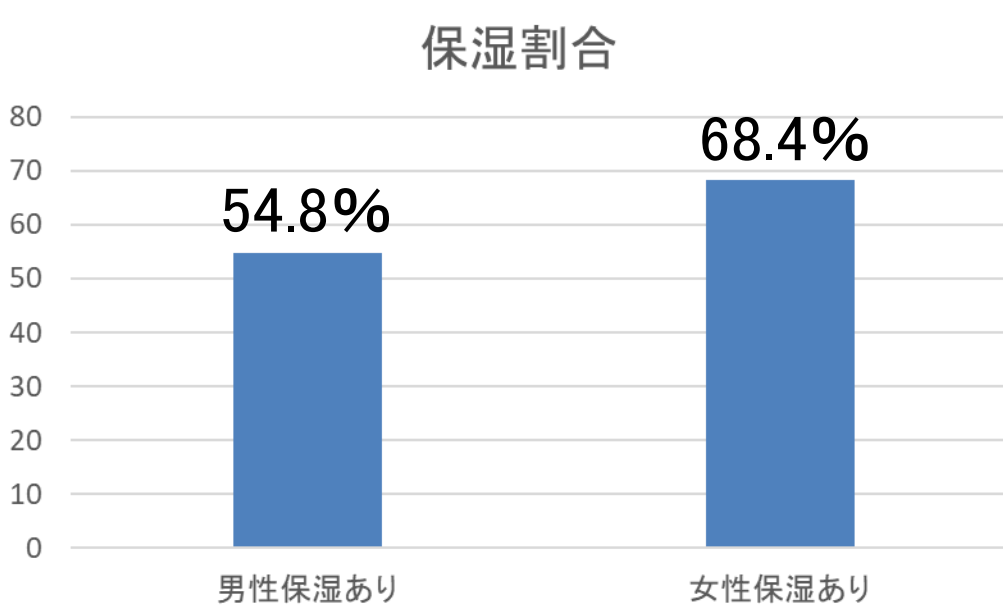
グラフ2. かゆみ有77名の透析歴別数[名]

『かゆみ有』のかゆみスコア平均

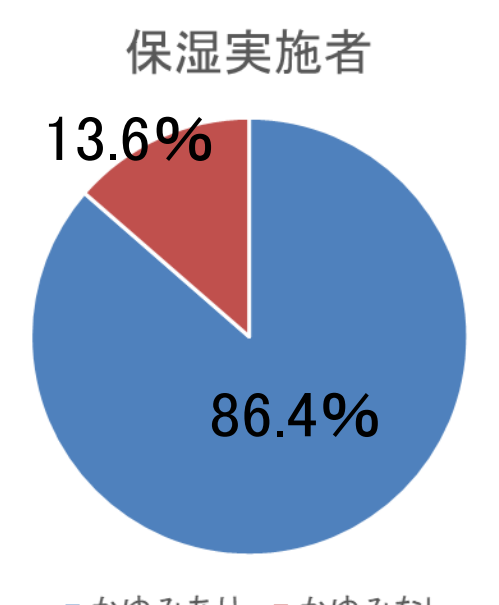
男性: 4.2pt  
女性: 3.5pt

トータルスコア上位5名に介入

男性: 4名(73名中)  
女性: 1名(38名中)



グラフ3. 保湿実施割合(男女別)



グラフ4. 保湿実施者におけるかゆみの有無

#### ケアの内容

2ヶ月間、透析日毎に看護師による保湿ケアを行う  
自宅での保湿ケア指導・かゆみの状況の聴取

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 患者A | 16点 | 0点  |
| 患者B | 10点 | 4点  |
| 患者C | 9点  | 2点  |
| 患者D | 10点 | 8点  |
| 患者E | 12点 | 12点 |

2か月後

**5名中4名**のかゆみスコアが減少  
(平均-6.1点減)

|            | 介入前(4月)   | 介入中(6月)   | 介入後(7月)   | 年齢        |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 患者A        | 6.3       | 6.6       | 5.7       | 64        |
| 患者B        | 3.3       | 5.3       | 5         | 60        |
| 患者C        | 4.3       | 3.8       | 3.3       | 60        |
| 患者D        | 4.4       | 4.6       | 5.4       | 56        |
| 患者E        | 3.6       | 3.9       | 3.9       | 41        |
| 5名平均       | 4.38±1.17 | 4.84±1.15 | 4.66±1.02 | 56.2±8.95 |
| 全体平均(111名) | 4.97±1.25 | 5.03±1.40 | 4.87±1.19 | 63±11.1   |

表3. 介入前後でのリン値の推移



- #1 かゆみスコア9点以上の患者のリン値は当院全平均より低値であった。
- #2 高スコア患者の平均年齢は、56.2±8.95歳であった。
- #3 保湿ケアの介入によってかゆみスコアは改善した。



#### 考察

1. 自身で保湿ケアを行っている患者でも、その86.4%が「かゆみがある」と答える状況にあった。
2. ケア介入によるスコア減少より、個人では正しい保湿が行えていない可能性が示唆された。
3. 正しい保湿の指導や透析毎のスタッフによる保湿ケアにより、かゆみの軽減がなされた。
4. 一般的にカルシウムやリンなどの電解質異常・また皮下や軟部組織への異所性石灰化は全身のかゆみを誘発すると言われる<sup>1)</sup>。しかし今回、介入した5名のリンコントロールは良好であり、保湿指導で改善できたことから透析患者のかゆみに関しては、十分な透析条件下においては高齢化による乾燥が主体と考えられた。

#### まとめ

十分なリン管理の下では、高齢化した透析患者のかゆみの原因は、一般の患者と同じ保湿によって改善した。これは、看護師として患者に寄り添い、ともに苦痛と向き合うことで、信頼関係にもつながり、より深いケアを実現できた。今後は、他職種と連携しチームでの取り組みを実践していきたい。

#### 引用文献

1) 水政透 透析ケア9 Vol. 21 MCメディカ出版 2015.9 項28

